

マックスパーム施工による大型浸透径



施工実績（東京国際空港） 注入プラント

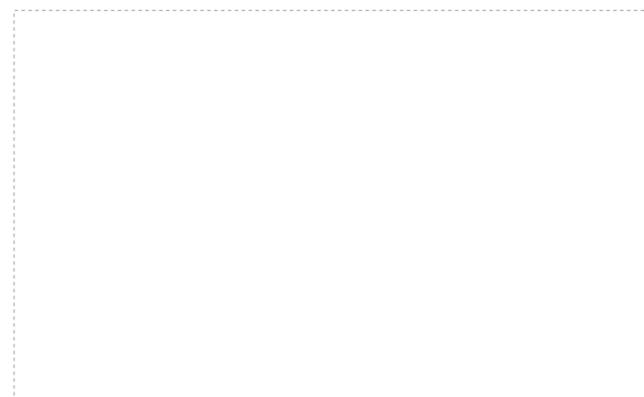


ISO 9001
ISO 14001
ISO 45001
認定取得 施工技術本部

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35
TEL.03-3265-2456 FAX.03-3288-0896

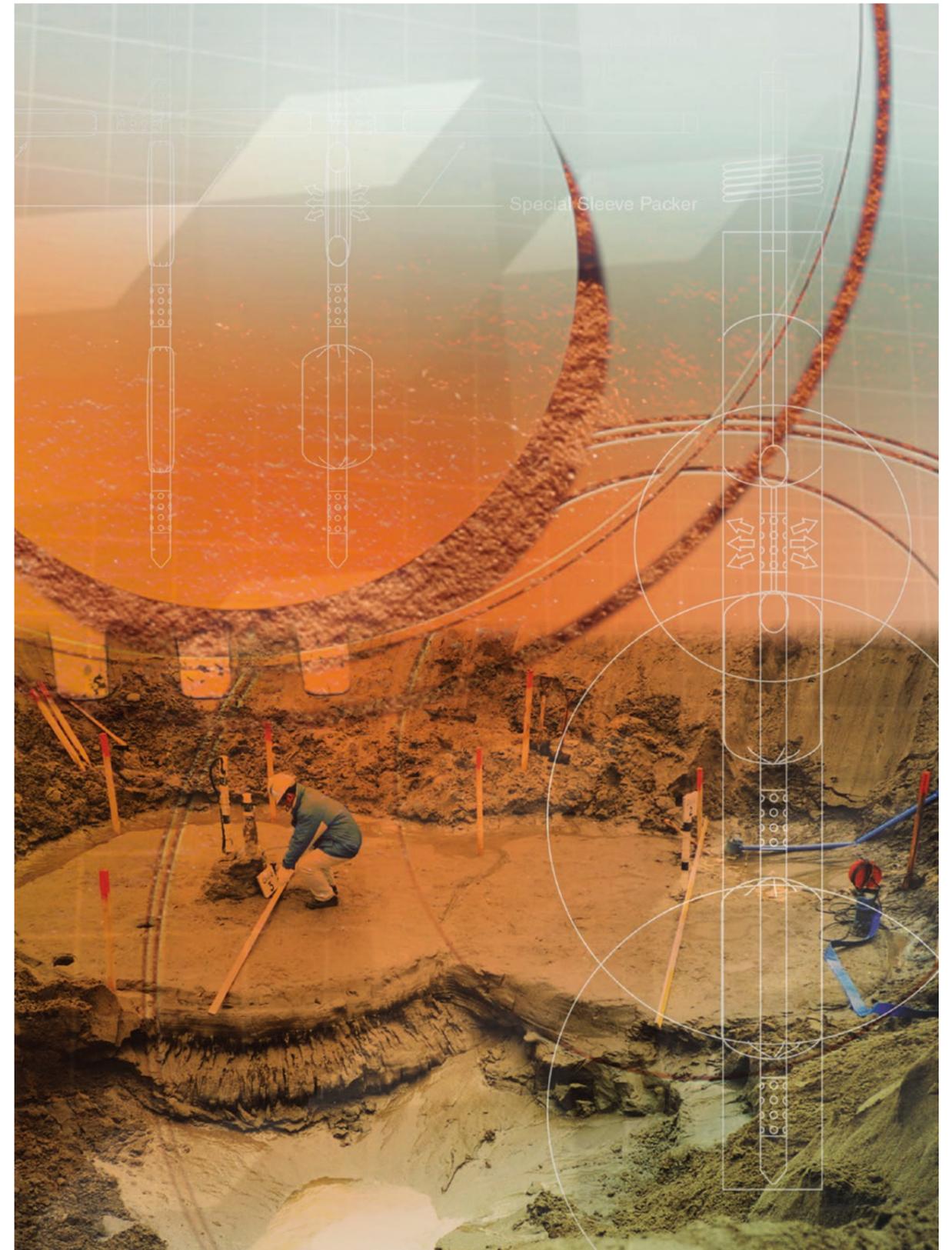
URL www.raito.co.jp
e-mail gijyutsu@raito.co.jp

お問い合わせは下記へお申し付け下さい。



発行 2013年1月
740410_500_TB

マックスパーム注入工法 PAT



Maxperm Grouting System

Reinforcement and liquefaction protection of the ground

マックスパーム注入工法 PAT

【「浸透固化処理工法」における注入の施工方法は五洋建設株式会社との共同開発です。
 【「浸透固化処理工法」の標準的な施工技術の1つとしてマックスパーム注入工法が適応されています。】

開発の経緯

マックスパーム注入工法は軟弱地盤の強化を目的として開発されました。

マックスパーム注入工法は薬液注入工法において最も信頼性が高く、すでに数万件からの実績を有する二重管ダブルパッカー工法(ソレタンシュ注入)に着目し、その原理を基に開発した画期的な注入工法です。

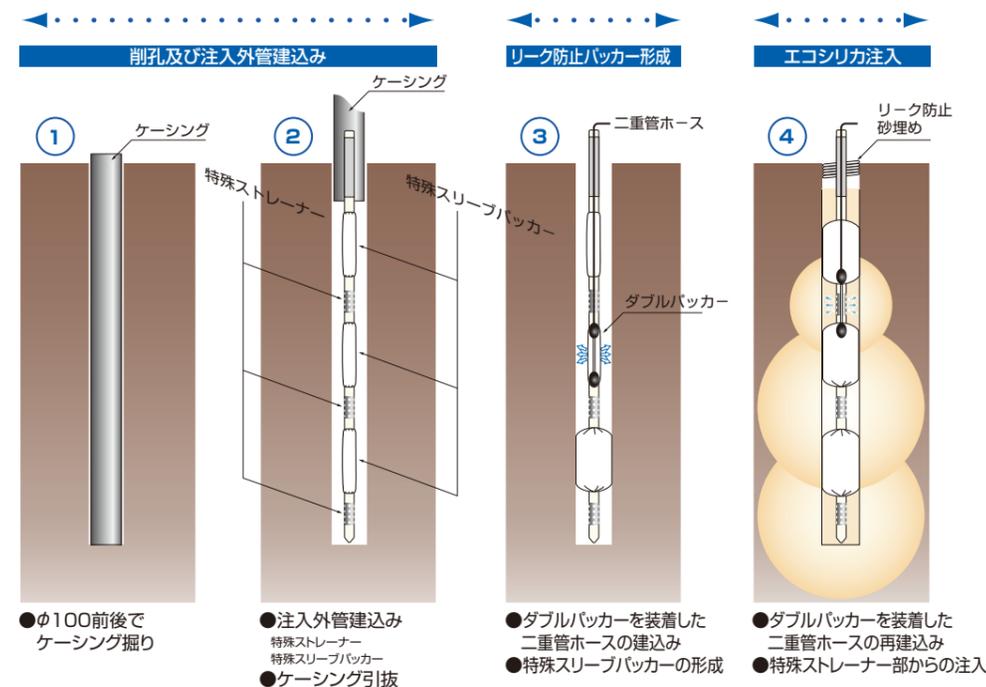
マックスパーム注入工法は経済性を追求し、また耐久性に優れた注入材を併用することにより長期間に渡り安定した改良効果が得られます。注入工法の基本である浸透注入により、できるだけ土の骨格構造を壊すことなく注入材を土の粒子間に浸透させる方法を用います。

この工法は極めて低い圧力で注入を行うため、一般的な軟弱地盤の改良はもちろん、タンクや橋脚などの既設構造物直下での対応もスムーズにできます。

特長

<p>大型改良体</p> <p>2.0~3.5m</p> <p>●大型改良体(直径3.5m程度)の造成が可能です。</p>	<p>コスト ダウン</p> <p>間隔大きい</p> <p>●注入孔間隔が大きいため削孔本数が少なく、削孔費が割安です。</p>	<p>コスト ダウン</p> <p>MAX PERM</p> <p>従来注入</p> <p>●大きな注入速度で薬液を地盤に注入できるため、安値に施工できます。</p>
<p>省スペース</p> <p>●施工場所は大型重機類を必要とせず小型・軽量の機械を用いるために狭部でも施工できます。</p>	<p>施工性</p> <p>障害物</p> <p>●配管等の障害物があってもこれに影響されことなく改良範囲が施工できます。</p>	<p>省力化</p> <p>●コンピューター制御による注入工事トータル管理システム(CCS)を注入作業に用いることにより、作業の省力化が図れます。</p>

施工手順

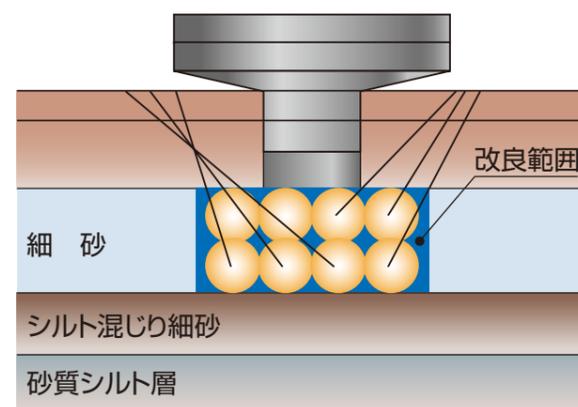


注入速度

注入速度は15ℓ/分~20ℓ/分を標準とします。細粒分が多い注入地盤に対しては、水注入試験(qcr試験)を行い、均一な粒子間浸透注入が得られる最大の注入速度(限界注入速度)を決定します。



橋脚・橋台の施工実績



建物直下の施工実績

